

平成19年 我が国の保健統計

目次

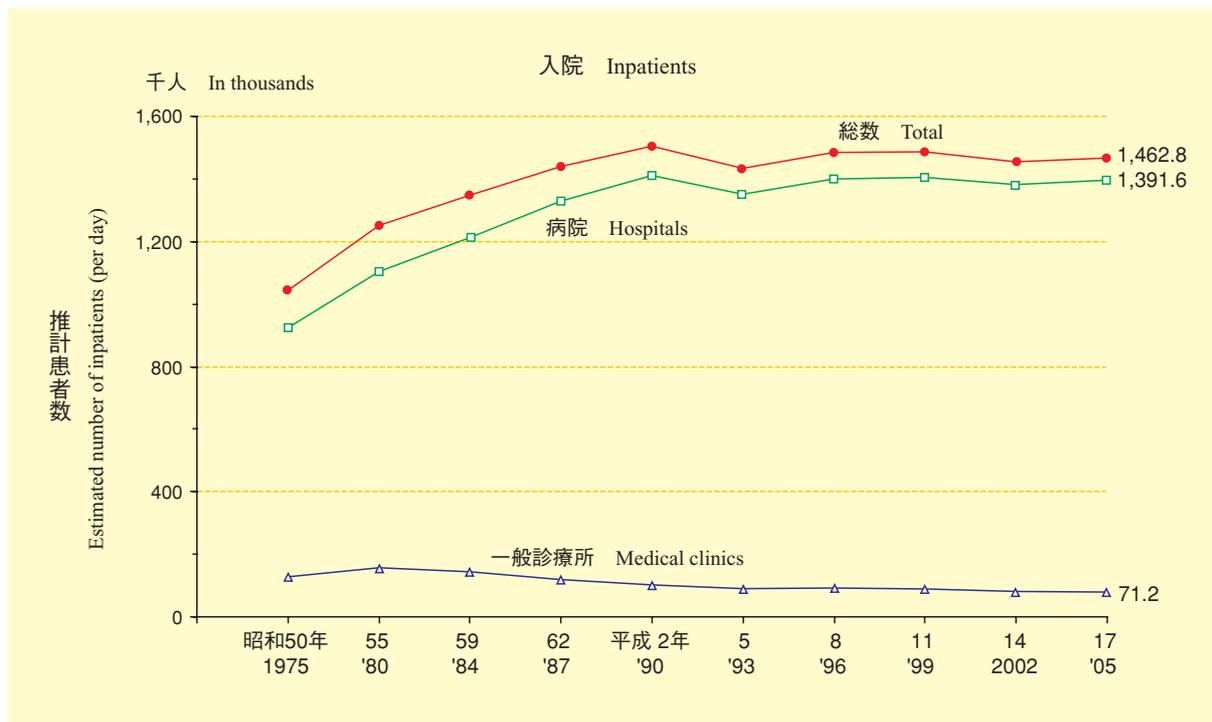
1. 患者の動向	
1-1 医療施設の種別にみた推計患者数の年次推移	1
1-2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移	2
1-3 年齢階級別にみた受療率（人口10万対）の年次推移	3
1-4 都道府県別にみた受療率（人口10万対）—平成17年—	4
1-5 主な傷病の受療率（人口10万対）の年次推移	5
1-6 新健康フロンティア戦略関連疾病の受療率の年次推移	6
1-7 65歳以上の者の傷病分類別にみた推計患者数の構成割合 —平成17年—	7
1-8 入院前の場所別にみた退院患者の退院後の行き先別構成割合 —平成17年—	8
1-9 主な傷病別にみた退院患者の在院期間別構成割合 —平成17年—	9
1-10 都道府県別にみた退院患者の平均在院日数 —平成17年—	10
1-11 主要な傷病の総患者数 —平成17年—	11
1-12 主要ながんの総患者数 —平成17年—	12
患者の視点から（受療行動調査より）	
1-13 病院の種別にみた外来患者の待ち時間と診察時間 —平成17年—	13
1-14 病院に対する満足度 —平成17年—	14
1-15 医療に関する安全について不安になったこと —平成17年—	15
1-16 入院患者の退院の許可が出た場合の在宅療養の見通し・可能にする条件 —平成17年—	16
2. 医療施設の動向	
2-1 病院の種別にみた病院数及び病床の種別にみた病院病床数の年次推移	17
2-2 一般診療所数及び歯科診療所数の年次推移	17
2-3 都道府県別にみた人口10万対病院数 —平成18年—	18
2-4 都道府県別にみた人口10万対一般診療所数 —平成18年—	18
2-5 都道府県別にみた人口10万対歯科診療所数 —平成18年—	18
2-6 病床規模別にみた一般病院数及び病床数の年次推移	19
2-7 病院における病床の種別にみた病床利用率の年次推移	20
2-8 病院における病床の種別にみた平均在院日数の年次推移	20
2-9 在宅サービスを実施している医療施設の割合 —平成17年—	21
2-10 病院の夜間（深夜も含む）救急対応の状況 —平成17年—	22
2-11 医療施設における受動喫煙防止対策の状況 —平成17年—	22
3. 保健医療関係者の動向	
3-1 医師数と大学医学部の入学定員の年次推移	23
3-2 都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対医師数 —平成18年—	24
3-3 歯科医師数と大学歯学部入学定員の年次推移	25
3-4 都道府県（従業地）別にみた医療施設に従事する人口10万対歯科医師数 —平成18年—	26
3-5 薬剤師数と大学薬学部入学定員の年次推移	27
3-6 都道府県（従業地）別にみた薬局・医療施設に従事する人口10万対薬剤師数 —平成18年—	28
3-7 医師・歯科医師・薬剤師数に占める女性の割合の年次推移	29
3-8 年齢階級別にみた医師・歯科医師・薬剤師数の性別構成割合 —平成18年—	29
3-9 就業保健師・助産師・看護師・准看護師・歯科衛生士・歯科技工士の年次推移	30
3-10 都道府県別にみた人口10万対就業保健師数・助産師数 —平成18年—	31
3-11 都道府県別にみた人口10万対就業看護師数・准看護師数 —平成18年—	31
4. 保健事業の動向	
4-1 基本健康診査及びがん検診受診者数・受診率の年次推移	32
4-2 都道府県—15大都市—中核市別にみた基本健康診査受診率 —平成17年度—	33
4-3 都道府県—15大都市—中核市別にみたがん検診受診率 —平成17年度—	34
4-4 精神保健福祉相談等の内容別にみた被相談等延人員の年次推移	36
4-5 精神保健福祉の相談の内容別延人員 —平成17年度—	36
4-6 市区町村が実施する歯周疾患検診・骨粗鬆症検診の実施率の年次推移	37
4-7 指導内容・年齢階級別にみた市区町村が実施する訪問指導延人員 —平成17年度—	37
4-8 保健所におけるエイズに関する相談・HIV抗体スクリーニング検査状況の年次推移	38
（参考）HIV感染者及びAIDS患者新規報告数の年次推移	38
（参考）平成18年に新規報告されたHIV感染者及びAIDS患者の感染経路	38
5. 国民医療費の動向	
5-1 国民医療費と対国民所得比の年次推移	39
5-2 主な傷病別にみた一般診療医療費構成割合 —平成17年度—	40
5-3 年齢階級別にみた1人当たり診療種別別国民医療費 —平成17年度—	41
5-4 都道府県別にみた1人当たり国民医療費 —平成17年度—	42

1. 患者の動向 Patients

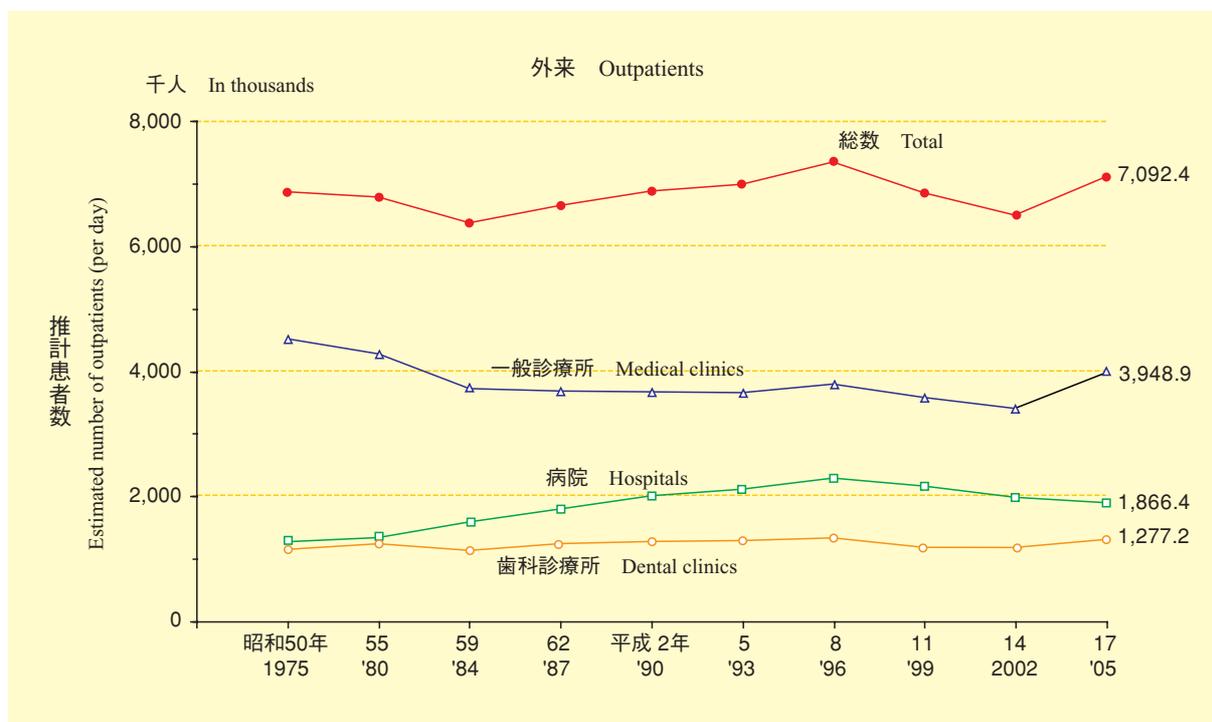
入院患者数は近年横ばい、外来患者数は一般診療所で増加

1-1 医療施設の種別別にみた推計患者数の年次推移

Trends in estimated number of patients (per day) by type of health care facility, 1975-2005



(患者調査)
(Patient Survey)

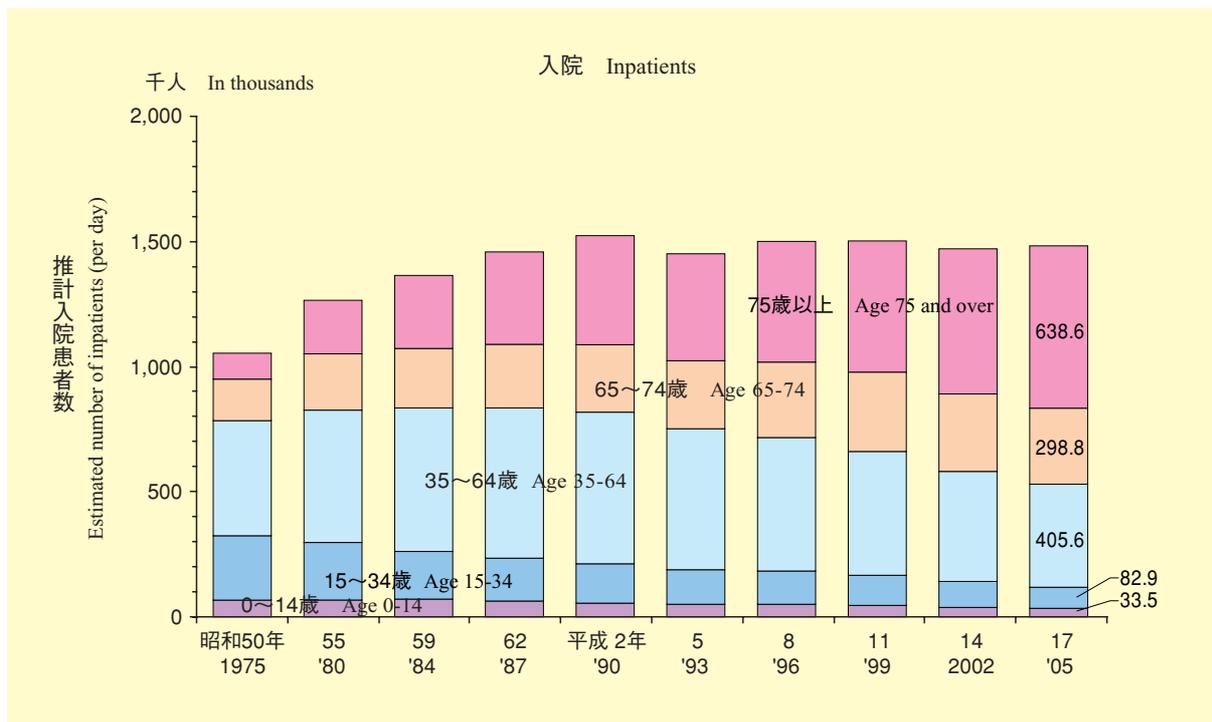


(患者調査)
(Patient Survey)

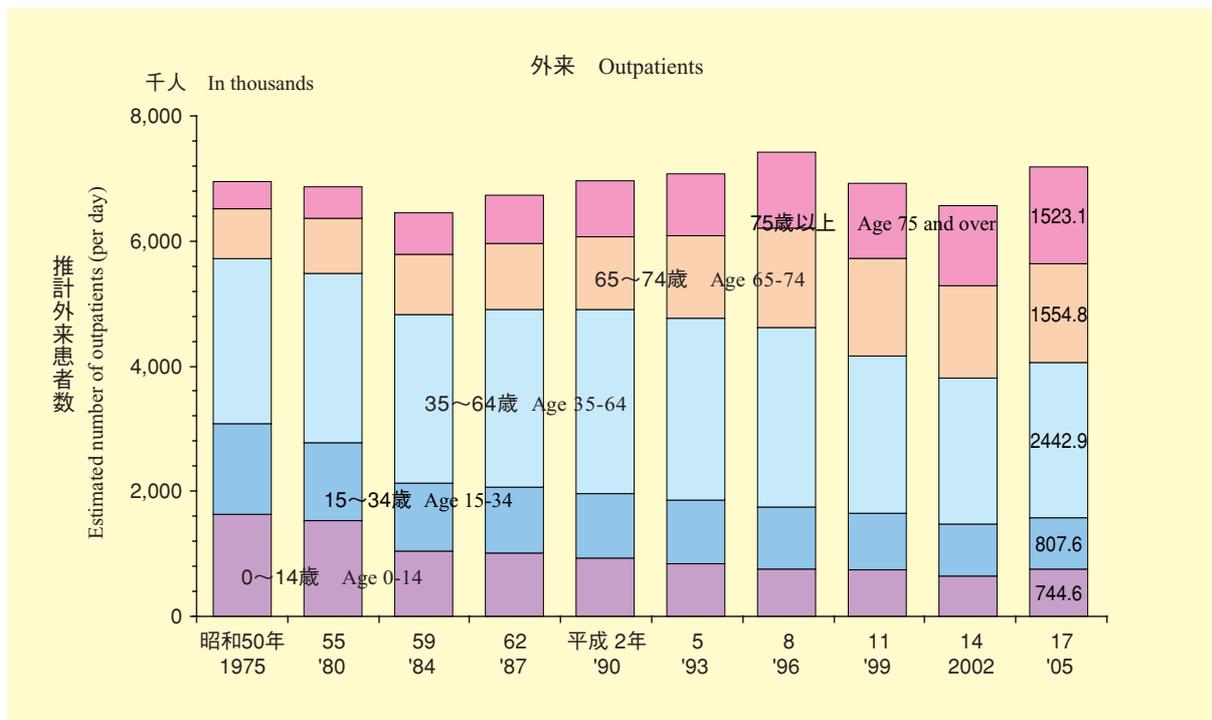
入院・外来ともに75歳以上の患者が増加傾向

1-2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移

Trends in estimated number of patients (per day) by age, 1975-2005



(患者調査)
(Patient Survey)

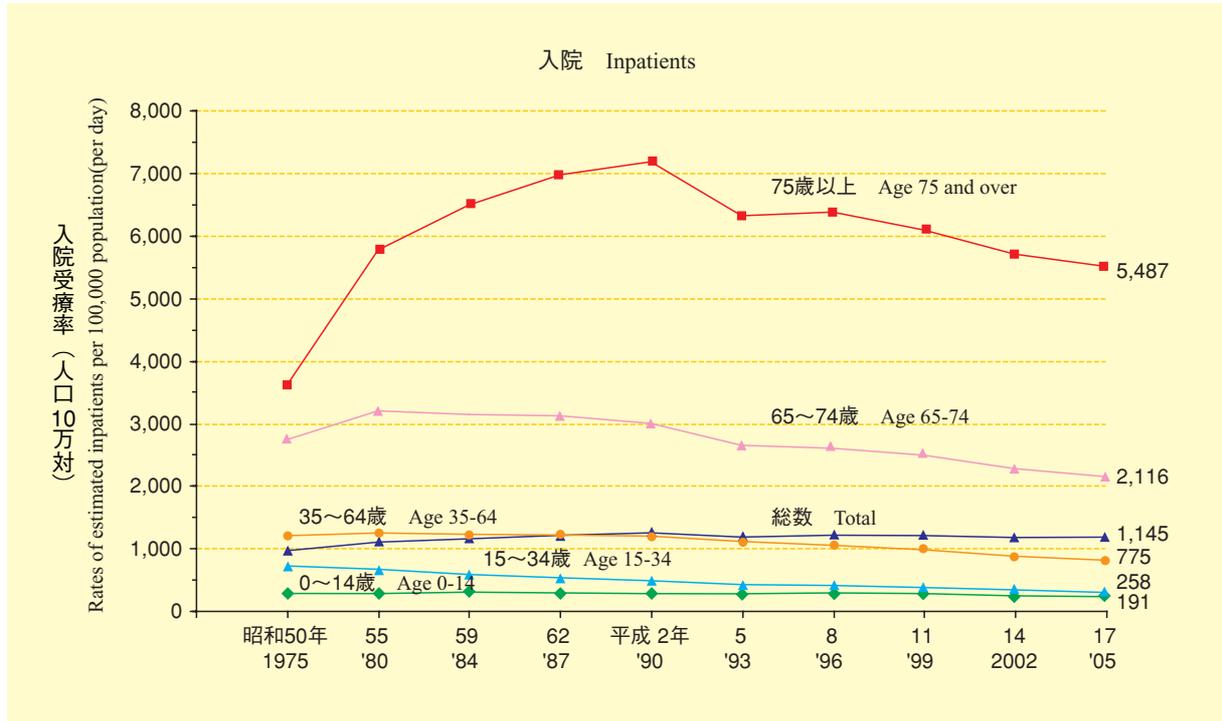


(患者調査)
(Patient Survey)

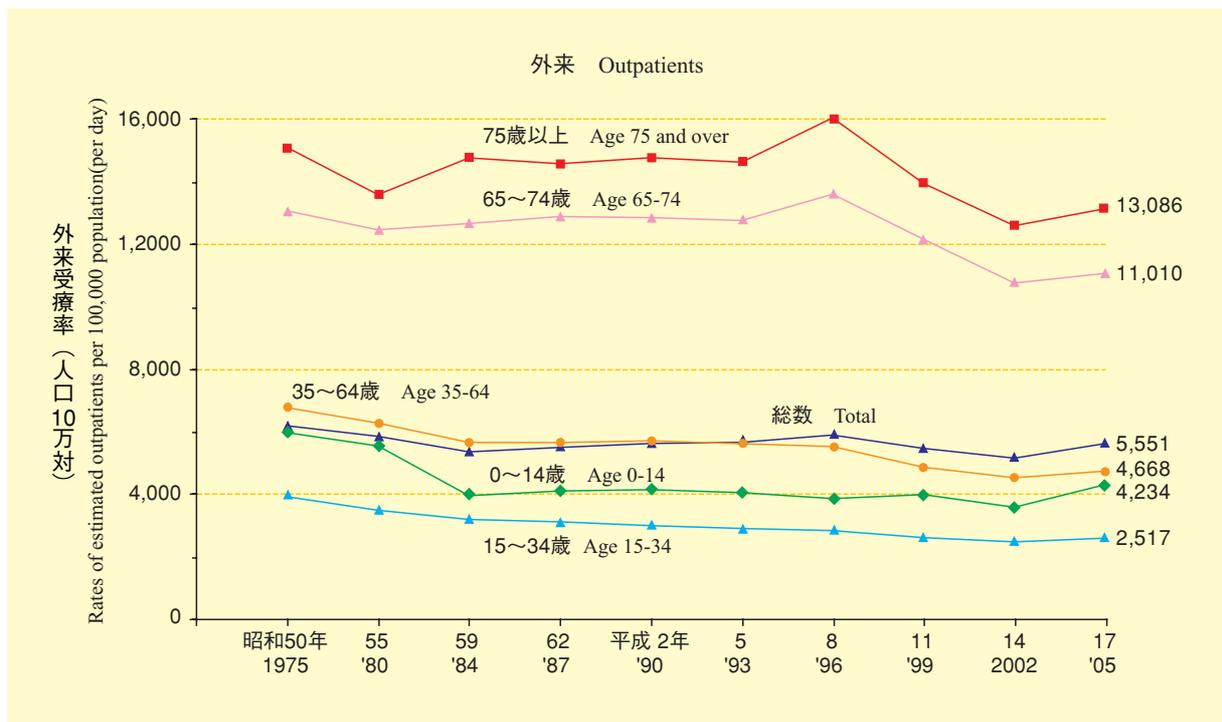
平成17年の75歳以上の受療率は入院5,487、外来13,086

1-3 年齢階級別にみた受療率（人口10万対）の年次推移

Trends in the rates of estimated patients per 100,000 population (per day) by age, 1975-2005



(患者調査)
(Patient Survey)

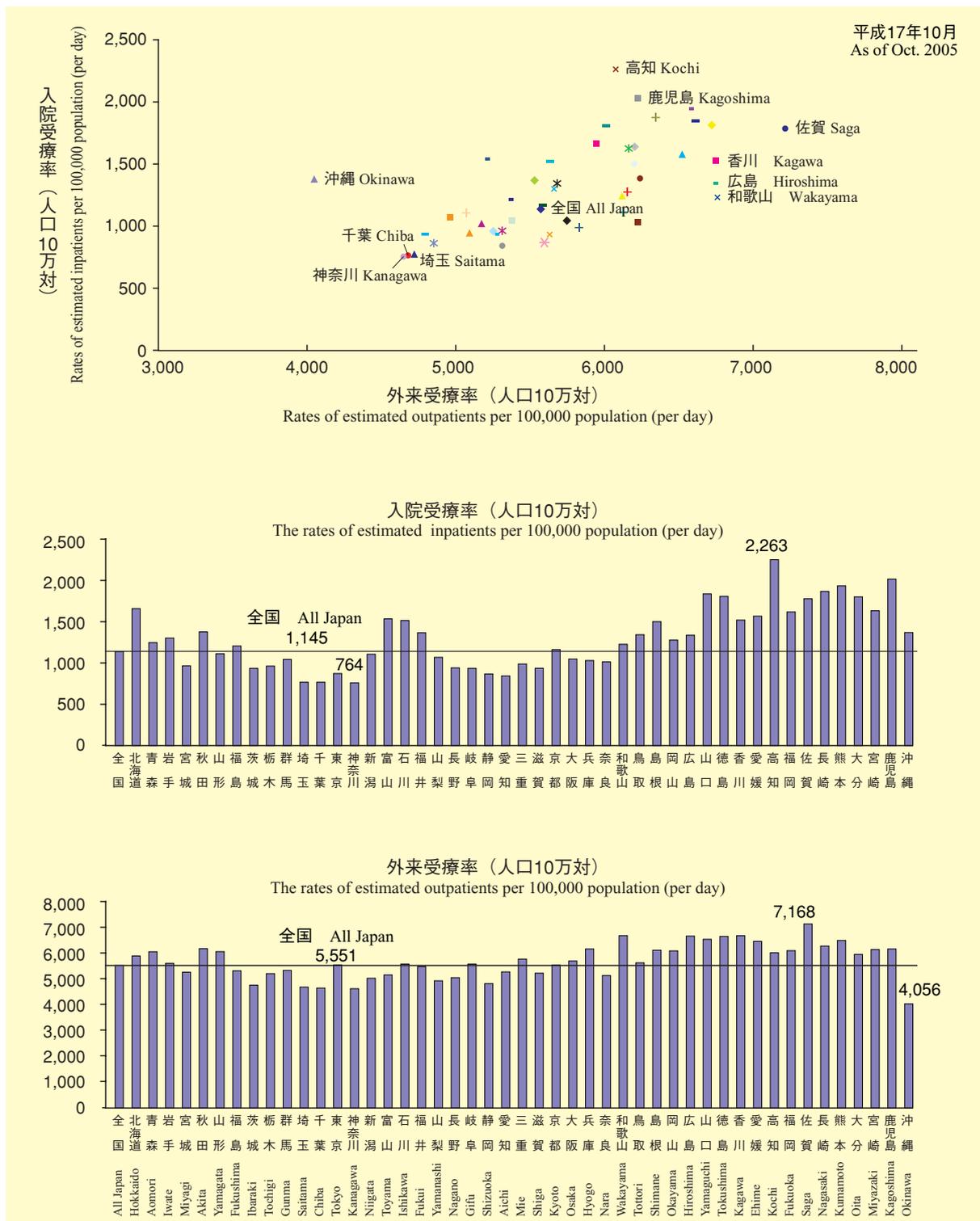


(患者調査)
(Patient Survey)

入院受療率は高知が2,263と最も高く、神奈川が764と最も低い
 外来受療率は佐賀が7,168と最も高く、沖縄が4,056と最も低い

1-4 都道府県別にみた受療率（人口10万対） —平成17年—

The rates of estimated inpatients/outpatients per 100,000 population (per day) by prefecture, 2005



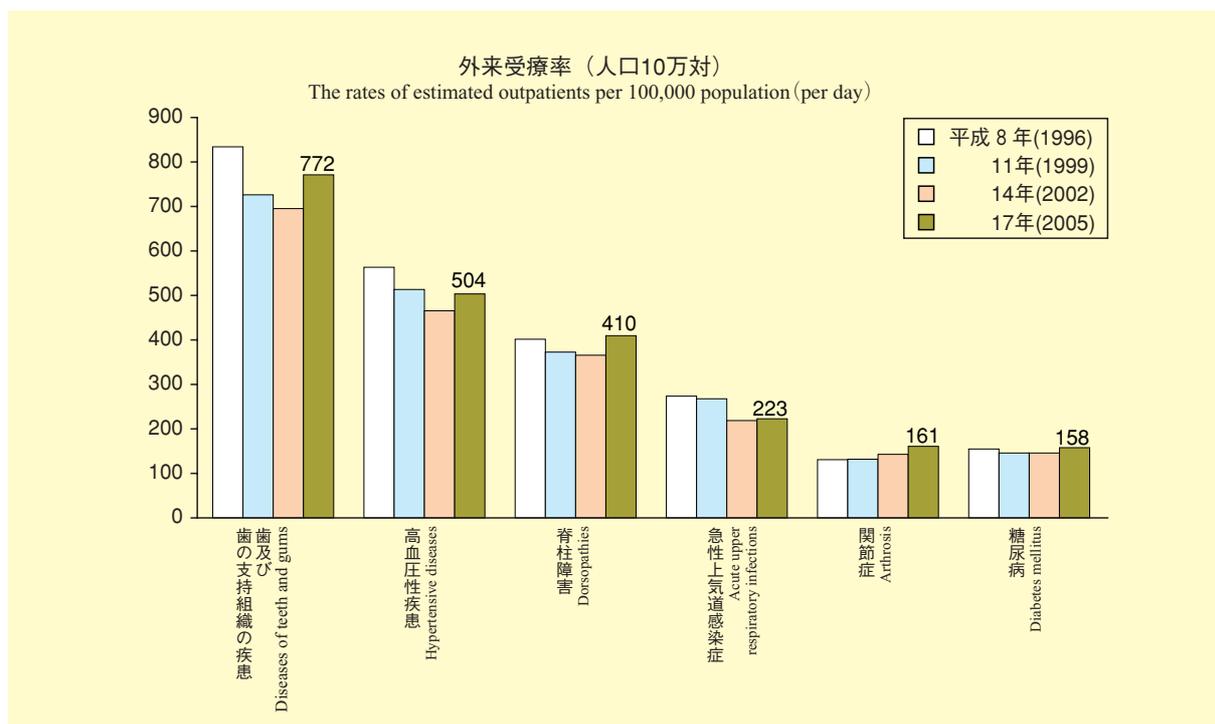
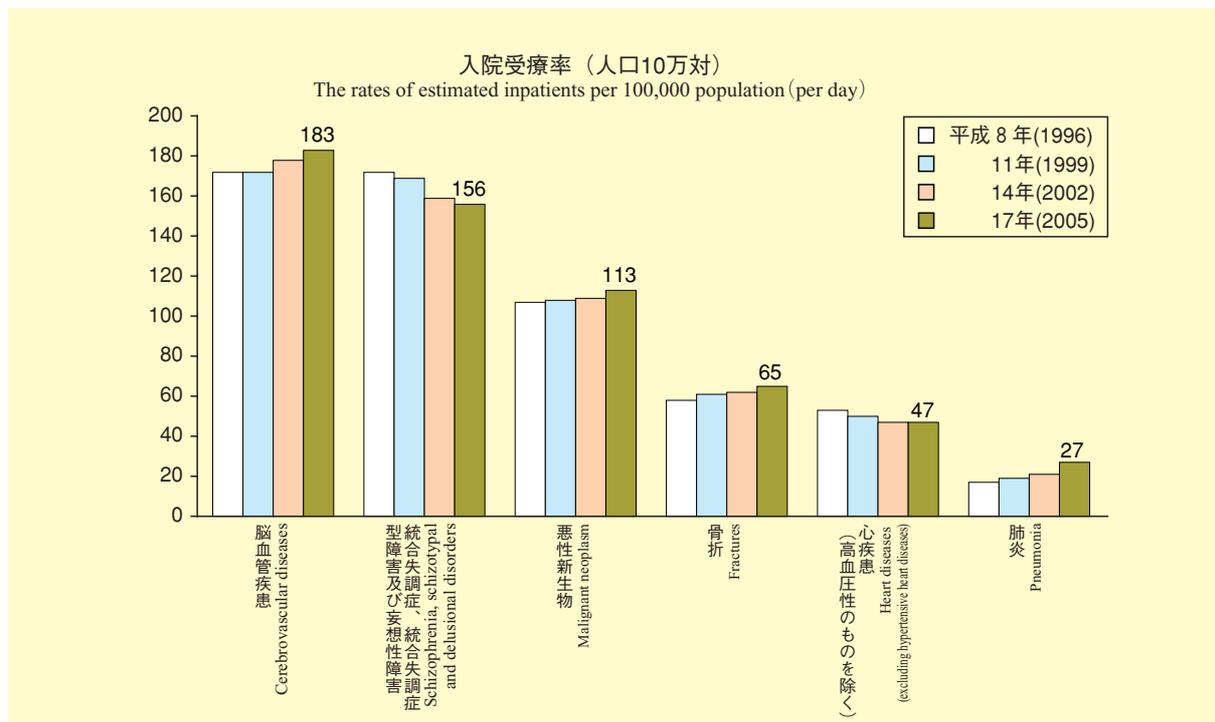
注：患者住所別別に集計したものである。
 数値は統計表総覧1を参照。

(患者調査)
 (Patient Survey)

入院では「脳血管疾患」、外来では「歯及び歯の支持組織の疾患」が最も多い

1-5 主な傷病の受療率（人口10万対）の年次推移

Trends in the rates of estimated inpatients/outpatients per 100,000 population (per day) by major diseases, 1996-2005

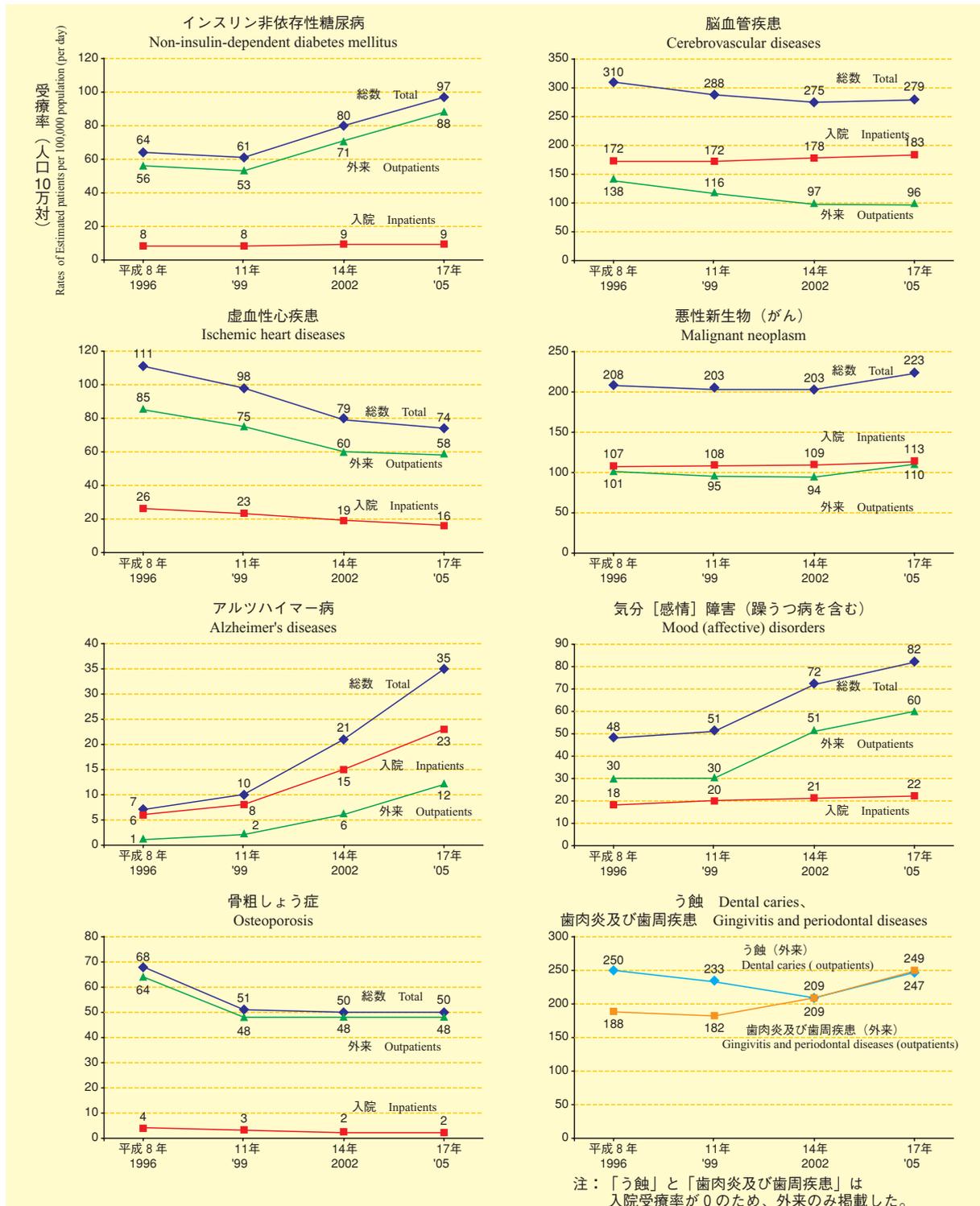


注：入院・外来別に各々受療率が高い傷病を掲載した。

(患者調査)
(Patient Survey)

1-6 新健康フロンティア戦略関連疾病の受療率の年次推移

Trends in the rates of estimated inpatients/outpatients per 100,000 population (per day) by diseases referred in “The New Health Frontier Strategy”, 1996-2005



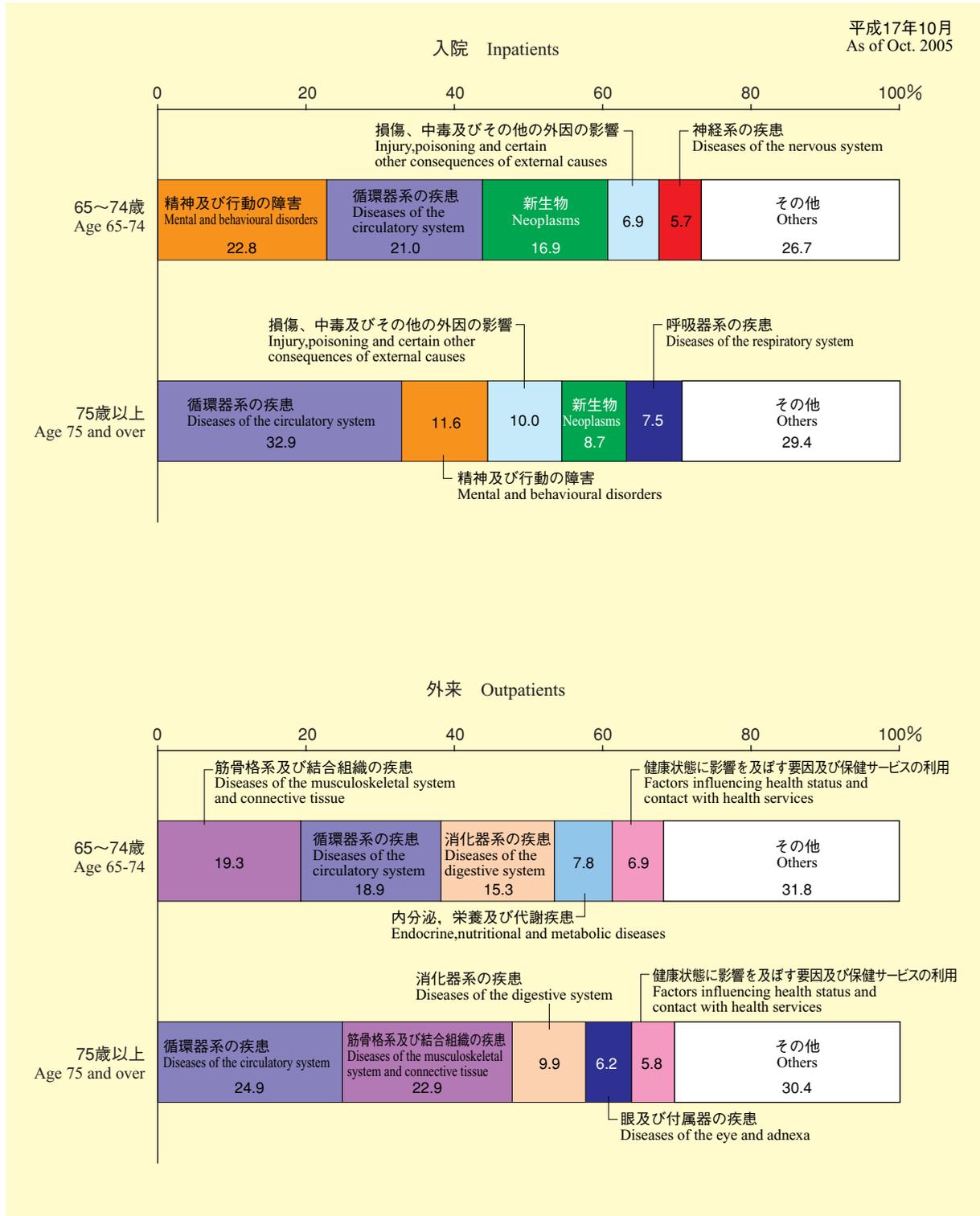
(患者調査)
(Patient Survey)

〈参考〉

2004年(平成16)年に策定された「健康フロンティア戦略」は、国民の健康寿命を伸ばすことを基本目標に生活習慣病対策の推進、介護予防の推進等を柱とし具体的な数値目標を設定し、それらを支える科学技術の振興を図ることを目的としている。2007(平成19)年4月には、内閣官房長官が主宰する「新健康フロンティア戦略賢人会議」において、その戦略の内容をさらに発展させた「新健康フロンティア戦略」(平成19年度からの10カ年戦略)が策定された。

後期高齢者(75歳以上)では、入院・外来ともに「循環器系の疾患」が最も多い

1-7 65歳以上の者の傷病分類別にみた推計患者数の構成割合 —平成17年—
Percentage distribution of estimated number of inpatients/outpatients of age 65 and over by leading diseases, 2005



注：後期高齢者とは75歳以上の高齢者を指す。

(患者調査)
(Patient Survey)